ニチレイチャレンジ特別泳力検定会　報告

長崎市会場

期日　2024年3月3日（日）

会場　長崎市民総合プール

参加人数　45人

ゲスト　中西悠子さん（シドニー五輪代表、アテネ五輪銅メダル、北京五輪代表）

青木智美さん（リオデジャネイロ五輪代表）

受検者　1級17名　2級30名

合格数　1級17名　2級25名

長崎市水泳連盟では5回目のニチレイチャレンジ特別泳力検定会が、2024年3月3日日曜日に、長崎市民総合プールにて開催された。今回も、公益財団法人日本水泳連盟のご支援をいただき、ゲストにオリンピアンの中西悠子さんと青木智美さんをお迎えして開催した。2018年3月に開催して以来、新型コロナウイルスの蔓延によってながらく開催することができなかったが、再びこの泳力検定会が開催されたことを大変うれしく思う。

泳力検定会は、はじめに長崎市水泳連盟会長の谷啓二よりご挨拶よりはじまり、2名のオリンピアンより参加者に対し激励のお言葉、長崎は良い思い出があるとお話をいただいた。長崎市民総合プールは、2003年にインターハイが、2013年には国民体育大会・長崎がんばらんば大会が開催されたこともあり、両名とも思い出のある大好きな町であると嬉しいお言葉をいただいた。

　今回の泳力検定会は、200ｍ個人メドレーと100ｍ個人メドレーの2種目のみエントリーする形で開催した。200ｍ個人メドレーと100ｍ個人メドレーの間には小休止をとり、両名による50ｍの模範泳法をみせていただいた。ＭＣの内田翔さんにより、中西悠子さんはバタフライ、青木智美さんは自由形の泳ぎの解説とポイントとなる点を解説いただき、参加者全員、抵抗の少ない素晴らしい泳ぎに感動していた。100ｍ個人メドレーでは、最終レースに親子対決（中西悠子さんと2名の息子さん）がおこなわれ、お母さん（中西悠子さん）が圧倒的なちからで勝利しました。2名の息子さんも抵抗のない泳ぎで、楽しく泳いでいた。オリンピアンの両名は、検定会途中でも選手に声をかけていただき、選手たちは嬉しそうに相談などおこなっており、終了後におこなわれたサイン会は大盛況であった。

　4年ぶりの開催となった泳力検定会を開催するにあたり、大変なご支援をいただいた公益財団法人日本水泳連盟、ニチレイ、中西悠子さん、青木智美さん、内田翔さんには厚く御礼を申し上げる。

（報告者　長崎市水泳連盟事務局長　　夏井　一生）